

「ホタル鑑賞の夕べ」

5月31日(土)毎年恒例の「ホタル鑑賞の夕べ」が行われました。

四番丁小学校では3年生が「ホタルの飛び町をつくろう」をテーマとして、1年間かけてホタルの世話を通してその生態を学んだり、本校の先輩「菊池寛」の子どもの頃の高松の様子を調べたりしています。

飼育水槽で育てたホタルの幼虫を放流する人工の川(縦4m、横15m)を作り、ホタルが生息しやすいよう井戸を掘って蒸留水を汲み上げ、酸素を泡立ててせせらぎに仕立てています。この人工の川を「ホタル池」と呼んでいます。

人間学習で一年間かけてホタルという生物を通して自然環境について考えたことや願いを、3月の「菊池寛まつり」で全校生や保護者や地域の人たちに発信するとともに、ホタルが飛び立つ5月末には、「ホタル鑑賞の夕べ」として、児童が育てたホタルを家族や市民に楽しんでもらおうと毎年実施しています。

今年も「ホタル池」が暗闇に包まれると、光を放ちながら空を舞うホタルに歓声を上げ、手のひらで包み込んだりして、光の軌跡にたくさんの人達が見入っていました。

